

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成28年度第3回情報教育研究合同委員会議事記録
情報教育研究委員会
情報リテラシー・情報倫理分科会
分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成28年8月5日（金） 18：00～20：00

II. 場 所：グランドヒル市ヶ谷 2階 鼓の間

III. 参加者：屋代担当理事、斎藤委員長、西垣委員、大原アドバイザー、玉田主査、高岡委員、
和田委員、金子委員、児島主査、角田委員、安部（栄）委員、大谷委員、
武藤アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

9月7日 ICT 戦略大会の2日目 D 分科会で説明するため、問題発見・解決思考プロセスを身につける教育モデルとして、分野共通の初年次教育と専門教育との連携の仕組みについて委員から資料が提出され検討した。

- ・ 授業方略の検討が必要ではないか。
- ・ 15回の授業が出来ないことも考えられ、3から4回での取り組みが考えられないか。または、8回までと以降として分割できないか。
- ・ 初年次で能力が定着できないことから、4から6年での達成を目指す、その連携イメージ、戦略を考える必要がある。
- ・ ワープロ表計算などのスキルについて学修の必要性がでないか、リメディアル教育などと分離して考える必要があるのではないか。アドミッションポリシーでうたっておく必要があるのではないか。
- ・ 委員会として、大学を支援する考えが必要で、教員へ説明する取り組みが必要ではないか。
- ・ 大学や学部学科により、一部をつまみ食的に利用する方法が考えられ、モジュール化をする必要があるのではないか。
- ・ マップを作成して、現状の教育を認識し、教員連携する仕組みをイメージする必要がある。
- ・ モジュールでスパイラルに向上していく表記を入れてはどうか。
- ・ 教材としていくつかのテンプレートを作成するイメージを入れてはどうか。
- ・ まとめの部分では、授業方略、連携体制、教材開発、課題の共有などを含めてはどうか。
- ・ 平成30年度を目指して、教材テンプレートやどうが教材、会議開催などの研究や取り組みが設定できないか。

V. 今後のスケジュール

- ・ 今回の検討を反映して9月7日 ICT 戦略大会の2日目 D 分科会で説明することにした。